

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300282
法人名	有現会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム だんだん
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町11番11号 (電話) 0994-36-8678
自己評価作成日	令和3年9月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年9月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

西大手町の繁華街に近いこともあり地域での催しや祭りへの参加に適した環境にあると言えます。地域との関係性を深め、共存していけるような施設を目指します。
現在はコロナ禍により外出など制限を余儀なくされていますが制限が解除されたときの準備を整えていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は法人内の事業所に属したグループホームである。事業所内では合同の会議や行事食の差し入れ等、協力体制が整っている。
- ・理念に沿って残存機能の保持や意思の尊重等の支援に取り組んでいる。
- ・かかりつけ医との24時間医療連携体制が築かれており、訪問看護による健康管理を行い、本人・家族の安心に繋がっている。
- ・コロナ感染防止の為、地域との交流は自粛しているが、日頃から回覧板や町内会役員からの情報を得て地域の状況の把握に努めている。
- ・家族との窓越し面会やLINE面会の実施、事業所からのLINE動画・写真の送付等で、家族との繋がりが途切れないように努めている。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、お互いへの目配りと気遣いがされている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日業務前の申し送り後に理念の唱和をおこない確認、意思の共有を図っている。	開設時に職員で検討して作成した理念を、重要事項説明書に掲載すると共に事務所やホールに掲示している。朝の申し送り時に唱和し、理念を確認して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加盟し地域での行事の情報を得て可能な限り参加できるよう努めている。	町内会に加入しているが、コロナ禍の為地域行事は自粛し地域との交流は困難な状況である。その中で、地域の情報を回覧板や町内会役員との連携を通して把握に努め、可能な限り参加したいと考えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポートワーカーに入会し相談窓口として登録。オレンジのまどの表示をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍にて文書での開催としている。文書をお渡しする際に直接や電話口にてご意見を伺っている。	2ヶ月に1回の運営推進会議は、コロナ禍の為書面開催となっている。委員からの意見・助言は、資料等の手渡し時や電話で把握に努めサービスに活かしている。今後、多くの委員から意見等を把握できるような方法を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	手続きなどで必要時は市役所に出向き対応していただいている。	市の担当者とは、運営推進会議資料の持参や報告・相談で窓口に出向いて助言等を受けている。生活保護担当者とも同様に連携を図っている。市のZoom研修を積極的に受講し、質の確保に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所での身体拘束委員会にて検討会を3か月に1回開催し身体拘束をしない取り組み、勉強会について検討している	事業所での指針を基に研修会を年数回実施している。委員会は法人の事業所で3ヶ月毎に開催している。スピーチロックや行動制限をしないケアに取り組んでいる。言葉遣いについては事例を挙げて確認している。玄関の施錠は昼間はしていない。外出希望者には付き添い一緒に散歩を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修などでの学びを職員間で共有し虐待防止に努め虐待のないケアを心掛けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員個々での研修での学びはあるものの職員全員での学びの場は開けていない。今後、勉強会などで知識の共有を図っていきたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に説明を行いご家族にご理解を求めている。改正があれば変更についての文書を配布し同意を求めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族からの要望、利用者様の発言に耳をかたむけ可能な限り応えられるよう努めている。</p>	<p>利用者には、日常の会話の中から思いを聞いている。家族には、写真を送って反応を聞いたり、面会時や電話・ラインでも要望等を聞き、職員で話し合い運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員の要望や意見を聞き入れホームの環境作りなどに生かしている。個人の要望を聞き入れ対応している。</p>	<p>管理者は、日頃から意見が出しやすい雰囲気作りに努めている。職員会議や毎月の部署会議で出された意見を活かしてケアの統一を図る等、業務に反映させている。個別に時間を作り悩みや相談を受けている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者、職員の要望など報告から働きやすい環境整備に</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修の受講を勧め、各職員の技術、知識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今季よりサポーターカーに参加し交流が広がる機会になればと期待している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の情報を職員間で共有し本人に安心していただけるよう声掛けをおこない、いい関係性作りに活かしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居説明の場で初期段階でのご家族の不安や要望を伺うよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居説明の段階でお話を伺い、望まれるケアにグループホームとしてどこまで応えられるか説明を行う。他のサービス利用の希望があれば可能な限り要望に応えられるよう努める</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は日常的に利用者様とコミュニケーションを図り共同生活の中での家事作業を共に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との繋がりを大切にし、その時の状況にあわせてご家族と利用者様と職員の関係性作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣でのイベント開催時には積極的に参加したい。ドライブを行い住み慣れた地域を見に行く等し関係の維持に努める。	コロナ禍で外部との交流を自粛している為、家族とのガラス越しの面会やLINEでの面会を支援し、事業所からもLINE動画や写真を送付し近況を報告する等、関係継続に努めている。近隣の散歩時に挨拶したりドライブに行き知人との出会いで馴染みの関係がとぎれないように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性やADLなどに配慮しホールでの席を決めている。必要時は席替えを行う。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でも何かあれば相談していただけるよう声かけしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と日常的にコミュニケーションを図り希望や要望など聞き、その情報を職員間で共有し現実に向け検討など行う。	日頃の何気なく発した利用者の言葉から、本人の希望を把握できるよう努めている。家族から本人の飲み物の習慣や好みの情報を得て職員で話し合い、可能な限り日常生活に取り入れて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	新しく入居された利用者様についてカンファレンスを開きこれまでの生活歴や環境も含めて職員間での共有を図っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ADLについて検討しケアの方法の統一を図る。毎日のケアの中で気づきなどあれば支援経過や申し送り職員間の共有に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時には職員、ご家族に確認を求め意見や要望を聞く機会を設けている。必要があれば修正している	本人・家族の要望を踏まえ、医師からの意見を基に職員で話し合い介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月または1年に1回介護計画を見直しており、状況変化時にも現状に即した介護計画に変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>支援経過とは別に状態変化や気付きが記録できる場所を設けており申し送りノートでの情報共有も行っている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>現在のコロナ禍の事情にて行動の制限はあるが出来る範囲での対応を検討し行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入し地域の行事に参加できる形は出来ている。今後も本人1人1人が参加できるよう支援していきたい</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>現在利用者様9名、かかりつけ医の訪問診療を受けられる形ができています。体調変化などあれば医師に状況報告し支持をいただいている。</p>	<p>契約時に確認したかかりつけ医の2週間に1回の訪問診療を受けており、他科受診は家族の協力も得ながら対応している。週1回の訪問看護による健康管理や24時間医療連携体制により、必要な医療が受診できるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調に変化や不調が確認できたときは速やかに訪問看護優心に報告し支持を仰いでいる。週に1回、月曜に訪問看護の訪問日となっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医療機関に情報提供を提出している。必要時は連絡をお願いし対応できるよう努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期における対応について重要事項説明所にて記載し説明している。終末期の延命についての取り決めは書面での選択、その時のご家族の判断を求める場合もあるとして連絡先の確認をおこなっている</p>	<p>終末期に向けての指針があり家族に説明を行い同意書を得ている。重度化になる早い段階から家族と細かく連携している。ホームとして医療が必要になるまでの最大限の支援を行い、食事摂取が困難等の状況において主治医と家族の話し合いで今後の対応をしている。将来的には看取り支援を計画している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や怪我の発生時のマニュアルを作成し対応できるよう準備している。応急処置、AEDの使用については研修を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回おこない、全職員が流れを把握できるよう努めている。町内会長様も近所にいらっしゃるため、緊急時には協力を頂ける体制ができている。</p>	<p>年2回夜間想定で避難訓練を実施している。これまでは年1回消防署の立ち会いや自主訓練時の消防団・近隣住民の参加協力があったが、昨年度からコロナ感染防止の為、事業所単独で実施している。非常用の食料は、水や米・缶詰・ビスケット・インスタント食品等の食料3日分を備蓄している。カセットコンロも確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	事業所の理念を毎日復唱し職員で共有し、利用者様の生活向上に努めている。コミュニケーションについても事業所研修で行っている。	研修会を実施し、理念に沿って人格の尊重を保ったケアに取り組んでいる。入室時のノックやケア開始時の声掛けを実施し、排泄失敗時は羞恥心に配慮したさりげなく素早い対応をしている。申し送り時は利用者に内容が分からないようにプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で話を聞きながらケアを提供し本人が選べる声かけで自己決定の促しに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人のやりたいことを把握し本人のペースで生活していただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪、爪切りなど身だしなみには配慮している。衣類など本人の好みに合わせ支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人1人1人の好物や料理など職員間で共有し提供している。盛り付け、トレイ拭きなど役割として共に行っている。	利用者の好みを聞いて献立を作成し、刻み食等を個々に応じて提供している。料理を皿につき分けたりお盆拭きを職員と一緒にしている。誕生日のケーキや好物・行事食・出前弁当等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態など本人に合わせ、自分で食べやすい補助具の選定を行う。飲水はジュースや牛乳など本人が選べるよう種類を増やしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に本人のADLに合わせてケアを行っている。義歯は每晚洗浄剤を使用し講習予防や消毒に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人1人1人の排尿ペースなど把握し本人のADLに合わせた形での排泄介助を行っている。リハパンや尿取りなどの選定についてその時の状態に合わせて検討を随時行っている。	チェック表で個々の排泄パターンを把握し、個々に応じた排泄介助を行っている。パット等の排泄用品は本人に適した物を検討して使用しており、昼間はトイレでの排泄を基本に自立に向けて支援している。夜間は、状況に応じてポータブルトイレを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を把握し便秘に対しての服薬調整。本人の想いに沿って牛乳などの準備。日課としての体操への参加を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一般浴と機械浴の両方があるため本人の要望やADLに合わせ浴室を選んでいただいている。本人の要望によっては入浴日を変更したりして対応している。	一般浴や機械浴を本人の希望や身体状況により選択し、隔日の午前中に入浴している。必要に応じて2人介助や汚染時の陰洗・シャワー浴も実施し、嫌がる場合は声掛けを工夫したり、無理強いせずに対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の要望や習慣にて就寝時間は本人に合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	本人の病状、服薬内容についてはカンファレンスなどで周知し、排便に関しては便の状態ですら服薬調整を医師の指示のもとおこなっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	現在、1人1人のくつろげる環境作りについての取り組みをおこなっている。メダカの飼育、季節の野菜や花を植えたりドライブを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出支援については現在は厳しい状況ではあるが、敷地内の散歩、ドライブ程度は行っている。今後の状況次第では外食や買い物など共におこなっていききたい	天候の良い日は敷地内の散歩を行っている。コロナ禍の為外出は自粛しているが、受診後にドライブや少人数でのお出かけで車外に出ないドライブを実施し、気分転換を図っている。買い物や外食の要望もあり、今後、検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭は本人の手元には置かないことで了承を経ている。日用品など本人の要望があれば立て替えでの購入や家族への依頼で対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者全員ではないが環境が出来ている方はスマホのラインにて動画や写真をご家族に送ったりする取り組みをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光がまぶしいとの訴えにて席替え、くつろげる空間づくりとしてソファの購入など利用者様の生活環境の整備に取り組んでいる。季節に合わせたホールの飾りつけを行っている。</p>	<p>ホールは吹き抜けになっており開放感がある。時間毎の換気や空気清浄機・エアコンを使用し、感染症対策と適切な室内環境の調節を行っている。花や飾り付けで季節感を味わえるようにしたり、一人ひとりがソファや自席等の好みの場所でくつろげるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>本人の要望を聞きながら過ごす場所を選べるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族の写真や本人の作品を飾り、自分の居室と認識してもらえるよう配慮している。</p>	<p>居室にはベッド・クローゼット・洗面台・エアコンを設置している。本人がテーブルや衣装箱・寝具・化粧品等の使い慣れた物を持ち込んだり、色紙や写真を飾って、居心地良く過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が自分の意志で動きやすいよう動線の確保や席決めしている。職員は本人の援助が必要な部分を見極めて援助している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない